

モニタリング結果報告書

施設名 : 秦野戸川公園

指定管理者 : (財)神奈川県公園協会

施設所管課(事務所名) : 平塚土木事務所

(平成21年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月11日	5月20日	月例報告書・日報・現場確認
5月	6月10日	6月19日	月例報告書・日報・現場確認
6月	7月10日	7月21日	月例報告書・日報・現場確認
7月	8月10日	8月18日	月例報告書・日報・現場確認
8月	9月10日	9月18日	月例報告書・日報・現場確認
9月	10月13日	10月20日	月例報告書・日報・現場確認

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

丹沢のダイナミックな風景を背景に、多彩なレクリエーションを楽しめる「自然共生型アウトドアレクリエーションパークの創造」を総合的な管理運営方針とし、県民のサービス向上、経費の節減に努めた運営を行う。

- ①多彩なレクリエーション環境の提供
- ②地域や関連施設との連携における公園利用の拡大
- ③丹沢山麓の自然環境としての景観維持

<実施状況>

- ①農体験(サツマイモ作り隊) 植え付けから収穫まで 参加者 50名程度
小学生と保護者家族を対象に公園の農体験場でサツマイモ・落花生の苗の植えつけ、除草などの手入、収穫までの一連の農作業を3回で行い、農業の大切さや大変さを体験学習してもらう。サツマイモや落花生の生長した様子に子供たちは驚き、楽しそうに雑草採り・収穫を行った。
- ①初心はフォトスクール(2回開催) 参加者 各回 約20名程度
当公園の専属カメラマンを講師に迎え、デジタルカメラ初心者を対象にフォトスクールを実施した。講師自身の撮影先での失敗談を交えた講義で、参加者からは高い評価を受けた。
- ②7月25日 公園祭り 来園者 約2,500人
開かれた「公園」、地域と密着した「公園」を目指し、地元との連携及び参加者とのコミュニケーションを築き上げ、「公園」の魅力を発信する機会を提供していくことを目的に、公園まつりを毎年実施している。今年は天候に恵まれない中、マスのつかみ取り、体験教室(体験ライティング・ターゲットゴルフ・ネイチャーゲームなど)などを実施し、多くの方が和気あいあいに参加し、このまつりを大いに盛り上げ、好評であった。
- ③自然をアレンジメント教室(毎月) 参加者 各階 約20名程度
公園の散策と、初心者が気軽に楽しめる公園の間伐材と剪定枝を使った樹のアレンジメント教室。樹のアレンジメントは初めての方が多く、好評であった。

3 収支状況

(単位：千円)

	収入額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)			
年間予算額	89,000	77,500	200	11,300	89,000	0
上半期計 (a)	45,755	36,805	305	8,645	40,509	5,246
4月	6,218	5,039	47	1,132	5,104	1,114
5月	7,104	5,674	65	1,365	5,119	1,985
6月	8,738	7,948	50	740	6,943	1,795
7月	7,638	6,127	58	1,453	8,115	△ 477
8月	8,564	5,773	76	2,715	8,665	△ 101
9月	7,493	6,244	9	1,240	6,563	930
下半期計 (b)						
合計 (a+b)	45,755	36,805	305	8,645	40,509	5,246
			0	0		

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

- ・収支差額が大きいのが、これは年度後半に植樹祭開催に合わせて、指定管理者が公園内の植物管理を行うために、支出を後半に設定しているためである。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	特になし	
支出の状況	特になし	
積立等の状況	特になし	(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	300,970人	288,600人	4.3%
4月	56,480人	49,428人	14.3%
5月	50,030人	43,660人	14.6%
6月	34,470人	31,570人	9.2%
7月	40,450人	57,864人	△30.1%
8月	69,230人	74,068人	△6.5%
9月	50,310人	32,010人	57.2%
下半期計 (b)	0人	0人	
合計 (a+b)	300,970人	288,600人	4.3%

利用状況に関する意見等

（半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。）

=

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	1			1		2
5月	2					2
6月						0
7月	1					1
8月		1				1
9月						0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	0	0	0
8月	0	0	0
9月	0	0	0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者により評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。）

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
事業内容	・パーベキュー場予約の在り方	キャンセル待ちができないシステムを説明し、理解を求めた
	・	
その他	・二輪車乗り入れ禁止看板が少ない	看板設置予定準備中
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
8月13日	フワフワジャンプにて7歳男児が遊戯中転倒し骨折
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		特になし	
月 日			

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季のバーベキュー2回制の実施に伴い、駐車場不足で場内整理（3人）、夜の部のバーベキュー利用者に対してのトランシーバーによる駐車場情報の連携による円滑な誘導、又バーベキュー使用後の清掃等、業務量が増大し人員が不足した。 ・バーベキュー対応に人員が取られ日常の公園管理（草刈、施設補修等）に支障がでたため、9月以降に作業が集中した。 ・バーベキュー予約システムの改善と駐車場用地も含め増強が必要である。
施設所管課	<p>大きな公園であり、多彩なレクリエーション活動が行えることから、遠方からの来園者を視野に入れて広報活動等を行うことが必要である。そのためには、ロケーションだけに頼らず、魅力的なプログラムの提供が必須であるが、指定管理者の所見にもあるように、人員配置を適切に行い、より県民に喜ばれる公園の運営を進めていくことが求められる。</p>